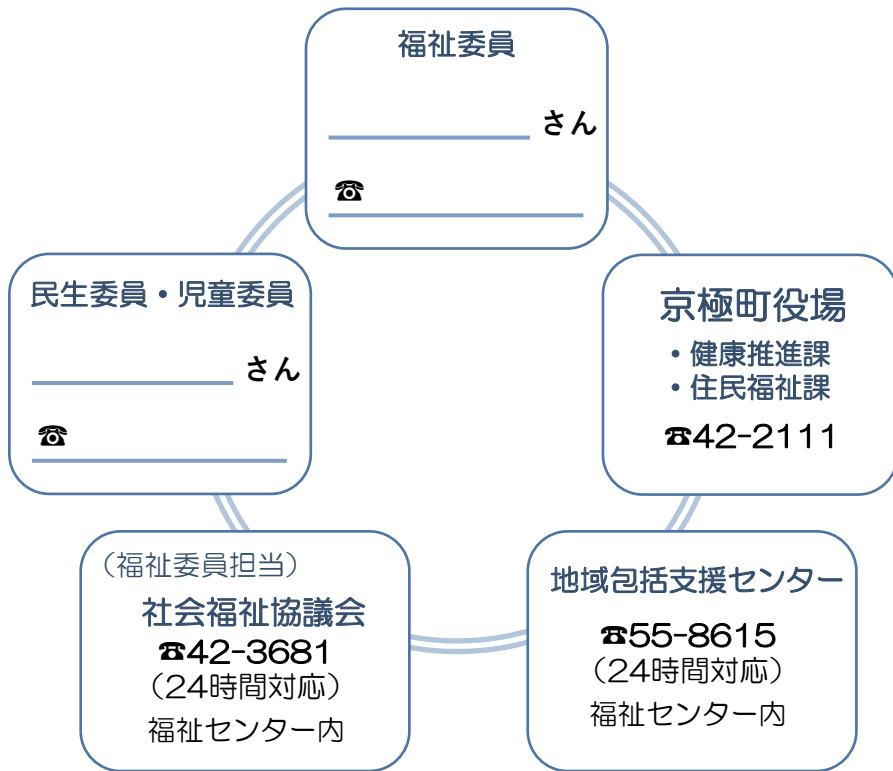


関係機関一覧



できることから少しずつ。
自分のため、ご近所のため、まちのために、
一緒に取り組んでみましょう！



京極町社会福祉協議会

福祉委員 活動のてびき

地域の身近な
相談役

京極町でも人口減少や少子高齢化が進み、2030年の高齢化率は約40%、人口の2.5人に1人が65歳以上となることが予想されています。



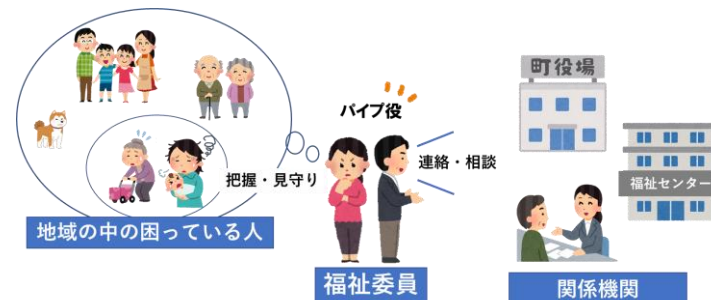
一人暮らし高齢者やご近所付き合いの希薄化により、孤立死のリスクも高まっています。



そこで、“町内会”という身近な地域で心配な方・困っている方を気にかけて見守る「福祉委員」の力が必要になります。

福祉委員とは？

身近な地域での見守り活動を行いながら、社協や民生委員などの関係機関と連携して、地域で困っている人、気になる人を発見し対応する地域のパイプ役。



福祉委員活動の内容

① みつける 見守り・声かけ

日常生活の中で、無理なくできる範囲での見守り・声かけを行い、住民の困りごとやちょっとした変化に気づくことも役割の一つです。



② 知らせる 関係機関へ連絡

見守り・声かけの中で変化に気づいた場合は、一人で抱え込まず福祉センターや役場、民生委員などの関係機関に知らせることも役割の一つです。



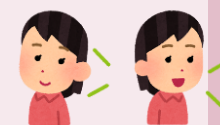
③ つながる 顔のみえる関係づくり

福祉委員同士の集まりや社協のイベント等への参加により委員同士・専門職と相談し合える仲間づくりを行うことも役割の一つです。



④ 知る.広める 情報を知り、活動を広める

勉強会や広報により、地域の方やご自身にも役立つ福祉の情報を知る。そして、福祉委員の活動や情報を広めることも役割の一つです。みなさんの取り組みを周知しましょう。



活動のポイント

- ・無理なくできることから取り組んでみましょう。
- ・ひとりで抱え込まず、相談し合いましょう。

- ・秘密を守りましょう

「どこまで踏み込んで良いのか分からない」という声をよく聞きます。まずは、「知り得た秘密を守る」ということを約束し、その中で活動しやすい方法を一緒に考えていきましょう。